

MCS 7835、MCS 7845、MCS 7855 または MCS 7865 シリーズ サーバへのメモリ モジュールのインストール

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[MCS 7835I-n.n-ECS1、MCS 7845I-n.n-ECS1、または MCS 7845I-n.n-ECS2 サーバへの置換 SDRAM メモリ モジュールの取り付け](#)

[MCS 7835I または MCS 7845I システム ボードへの DIMM の取り付け](#)

[MCS 7835H-n.n-ECS1、MCS 7845H-n.n-ECS1、または MCS 7845H-n.n-ECS2 サーバへの置換 SDRAM メモリ モジュールの取り付け](#)

[MCS 7835H または MCS 7845H システム ボードへの DIMM の取り付け](#)

[MCS 7855I-n.n-ECS1、MCS 7855I-n.n-ECS2、MCS 7865I-n.n-ECS1、または MCS 7865I-n.n-ECS2 サーバへの置換 SDRAM メモリ モジュールの取り付け](#)

[MCS 7855I または MCS 7865I システム ボードへの DIMM の取り付け](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、次のシスコ サーバのメモリ モジュール (SDRAM) 交換の概略と手順を説明します。

- [IBM xSeries-345 をベースにした Cisco Media Convergence Server \(MCS \) モデル](#) : MCS 7835I-n.n-ECS1MCS 7845I-n.n-ECS1MCS 7845I-n.n-ECS2
- [Hewlett-Packard モデル DL380-G3 をベースにした Cisco MCS サーバ モデル](#) : MCS 7835H-n.n-ECS1MCS 7845H-n.n-ECS1MCS 7845H-n.n-ECS2
- [IBM xSeries-255 をベースにした Cisco MCS サーバ モデル](#) : MCS 7855I-n.n-ECS1MCS 7855I-n.n-ECS2MCS 7865I-n.n-ECS1MCS 7865I-n.n-ECS2

注: 上記で使用されている n.n はプロセッサ速度を示しています。プロセッサ速度はサーバをいつ購入したかによって異なります。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの適用は、[概要](#)にリストされている特定のシスコ サーバに制限されます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

MCS 7835I-n.n-ECS1、MCS 7845I-n.n-ECS1、または MCS 7845I-n.n-ECS2 サーバへの置換 SDRAM メモリ モジュールの取り付け

適切なメモリの現場交換可能ユニット (FRU) は、次の部品番号を使用してシスコから購入できます。

- MEM-7835I-2.4-256=
- MEM-7835I-2.4-512=

メモリは、一致するデュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) のペアとしてのみ取り付け可能です。ペアの両方の DIMM は、サイズ、速度、タイプ、およびテクノロジーが互いに同一である必要があります。2 番目のペアは最初のペアと同一である必要はありません。シスコからメモリを購入しない場合、次の要件を満たしていれば、必要に応じて別のメーカーの DIMM ペアを使用できます。

- JEDEC 標準 PC2100。
- 登録済み (入出力のアドレス/制御バス遅延の登録)。
- ダブルデータ レート (DDR)。
- エラー訂正コード (ECC)。
- 266 MHz (PC2100 に固有) のデータ レート。
- CL2.5 (カラム アドレス ストロープのクロック サイクル遅延値)。
- 2.5Vdc。

サーバは 2 GB メモリ モジュールを 4 個までサポートし、最大 8 GB のポテンシャルを提供します。ただし、Cisco Unity システムが提供するオペレーティング システム ソフトウェアが物理的に対応できるのは、最大で 4 GB です。

MCS 7835I または MCS 7845I システム ボードへの DIMM の取り付け

MCS 7835I または MCS 7834I システム ボードに DIMM を取り付けるには、次の手順に従います。

1. DIMM ペアと同梱されている製造元の安全上の注意事項と取り付けガイドラインをお読みください。
2. 上部カバーを取り外します。
3. 新しい DIMM ペアの場所を確認します。最初のペアは J1 と J2、2 つ目のペアは J3 と J4。

4. 適切なコネクタに DIMM ペアを取り付けます。
5. 構成セットアップユーティリティプログラムのメモリ設定メニューで [Disabled] とマークされた不良 DIMM を交換する場合にのみ、新しい構成情報を保存します。この場合、メモリの行を再度有効にするか、デフォルトのメモリ設定をリロードします。

[MCS 7835H-n.n-ECS1、MCS 7845H-n.n-ECS1、または MCS 7845H-n.n-ECS2 サーバへの置換 SDRAM メモリ モジュールの取り付け](#)

適切なメモリの現場交換可能ユニット (FRU) は、次の部品番号を使用してシスコから購入できます。

- MEM-7835H-2.4-256=
- MEM-7835H-2.4-512=

メモリは、一致するデュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) のペアとしてのみ取り付け可能です。ペアの両方の DIMM は、サイズ、速度、タイプ、およびテクノロジーが互いに同一である必要があります。各ペアは他のペアと同一である必要はありません。シスコからメモリを購入しない場合、次の要件を満たしていれば、必要に応じて別のメーカーの DIMM ペアを使用できます。

- JEDEC 標準 PC2100。
- 登録済み (入出力のアドレス/制御バス遅延の登録)。
- ダブルデータ レート (DDR)。
- エラー訂正コード (ECC)。
- 266 MHz (PC2100 に固有) のデータ レート。
- CL2.5 (カラム アドレス ストロープのクロック サイクル遅延値)。
- 2.5Vdc。

サーバは 2 GB メモリ モジュールを 6 個までサポートし、最大 12 GB のポテンシャルを提供します。ただし、Cisco Unity システムが提供するオペレーティング システム ソフトウェアが物理的に対応できるのは、最大で 4 GB です。

[MCS 7835H または MCS 7845H システム ボードへの DIMM の取り付け](#)

MCS 7835H または MCS 7845H システム ボードに DIMM を取り付けるには、次の手順に従います。

1. 製造元の指示に従ってサーバをシャットダウンします。
2. 必要に応じてラックからサーバを拡張します。
3. アクセス パネルを取り外します。
4. DIMM スロットのラッチを開きます。
5. 適切な場所に DIMM ペアを取り付けます。DIMM は、単一バンクの両方のスロットに取り付ける必要があります。順番通りに DIMM を取り付けます (DIMM スロットには 1 から 6 まで順に番号が振ってあり、対になるバンクが A、B、C の記号で指定されています)。メモリをアップグレードする場合、バンクへの DIMM ペアの取り付けはバンク B から始めてください。
6. アクセス パネルを再度取り付けます。
7. オンライン スペア メモリの DIMM を取り付ける場合は、RSBU を使用してオンライン スペ

ア メモリのサポートを設定します。

[MCS 7855I-n.n-ECS1、MCS 7855I-n.n-ECS2、MCS 7865I-n.n-ECS1、または MCS 7865I-n.n-ECS2 サーバへの置換 SDRAM メモリ モジュールの取り付け](#)

適切なメモリの現場交換可能ユニット (FRU) は、次の部品番号を使用してシスコから購入できません。

- MEM-7835H-2.4-256=
- MEM-7835H-2.4-512=

メモリは同じサイズ、速度、およびタイプのペアまたはクアッドとしてのみ取り付け可能です。2 個の 512 MB DIMM を使用して 1 GB のメモリを追加する、または 2 個の 1 GB DIMM を使用して 2 GB のメモリを追加する場合、現在取り付けられている 4 個の 512 MB DIMM のうちの 2 個を、サーバメモリカード上の他の DIMM スロットに物理的に移動させる必要があります。現在取り付けられている 4 個の DIMM は、単一の 4-way インターリーブメモリ設定として構成されているため、移動させて 2 つの 2-way インターリーブ設定として再構成する必要があります。メモリコントローラは、2-way と 4-way の両方のインターリーブを同時にサポートすることはできません。サーバのメモリカードは、メモリコネクタスロットとその目的を示すメタルブラケットのラベルを提示します。

システムを 4 GB で構成するために 4 個の追加の 512 MB DIMM を取り付ける場合、その 4 個の新しい DIMM は、既存の 4 個の DIMM のインターリーブメモリ設定を変更せずに追加することができます。いずれの場合も、新しい PC2100 パートを、既存の PC1600 DIMM との 2-way または 4-way のインターリーブ設定で使用することはできません。新しい PC2100 パートはサーバで PC1600 パートとして動作します。ホットスペアのメモリ構成を使用する場合は、サーバに PC1600 と PC2100 のテクノロジーを混在させることはできません。

シスコからメモリを購入しない場合、次の要件を満たしていれば、必要に応じて別のメーカーの DIMM を使用できます。

- 同じメーカーのペアまたはクアッドのインターリーブ設定。
- JEDEC 標準 PC1600 または PC2100。
- 登録済み (入出力のアドレス/制御バス遅延の登録) 。
- ダブルデータレート (DDR) 。
- エラー訂正コード (ECC) 。
- 200 MHz (PC1600 に固有) または 266 MHz (PC2100 に固有) のデータレート。
- CL2.5 (カラムアドレスストロークのクロックサイクル遅延値) 。
- 2.5Vdc。

サーバは 2 GB メモリモジュールを 12 個までサポートし、最大 24 GB のポテンシャルを提供します。ただし、Cisco Unity システムが提供するオペレーティングシステムソフトウェアが物理的に対応できるのは、最大で 4 GB です。物理アドレス拡張 (PAE) は現在 Cisco Unity サーバでサポートされていません。

[MCS 7855I または MCS 7865I システムボードへの DIMM の取り付け](#)

MCS 7855I または MCS 7865I システムボードに DIMM を取り付けるには、次の手順に従います。

1. DIMM ペアと同梱されている製造元の安全上の注意事項、静電感度、および取り付けガイドラインをお読みください。
2. サーバをオフにし、すべての電源コードおよびケーブルを取り外します。
3. 上部カバーを取り外します。
4. エアー バッフルを取り外します。
5. サーバからメモリ基板アセンブリを取り外します。
6. メモリ基板エアーフロー ガイドを開きます。
7. 新しい DIMM ペアまたはクアッドの場所を確認します。2-way インターリーブの最初のペアは D2 と D8、2 つ目のペアは D4 と D10、3 つ目のペアは D6 と D12。4-way インターリーブの最初のクアッドは D2、D8、D1、D7、2 つ目のクアッドは D4、D10、D3、D9、3 つ目のクアッドは D6、D12、D5、D11。
8. 固定クリップを開き、適切なコネクタに DIMM ペアまたはクアッドを取り付けます。
9. 固定クリップが完全に閉じていることを確認します。
10. メモリ基板エアーフロー ガイドを閉じます。
11. メモリ基板アセンブリを再度取り付けます。
12. エアー バッフルを再度取り付けます。
13. 必要に応じて、構成セットアップユーティリティプログラムのメモリ設定メニューを使用して、交換したメモリを有効化します。

[関連情報](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)